

# Environmental Monitoring in East Asia: Remote Sensing and Forests

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.24517/00034745">https://doi.org/10.24517/00034745</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



## 第2章 中国現地調査

平成14年9月24日～10月2日

### ◆調査概要

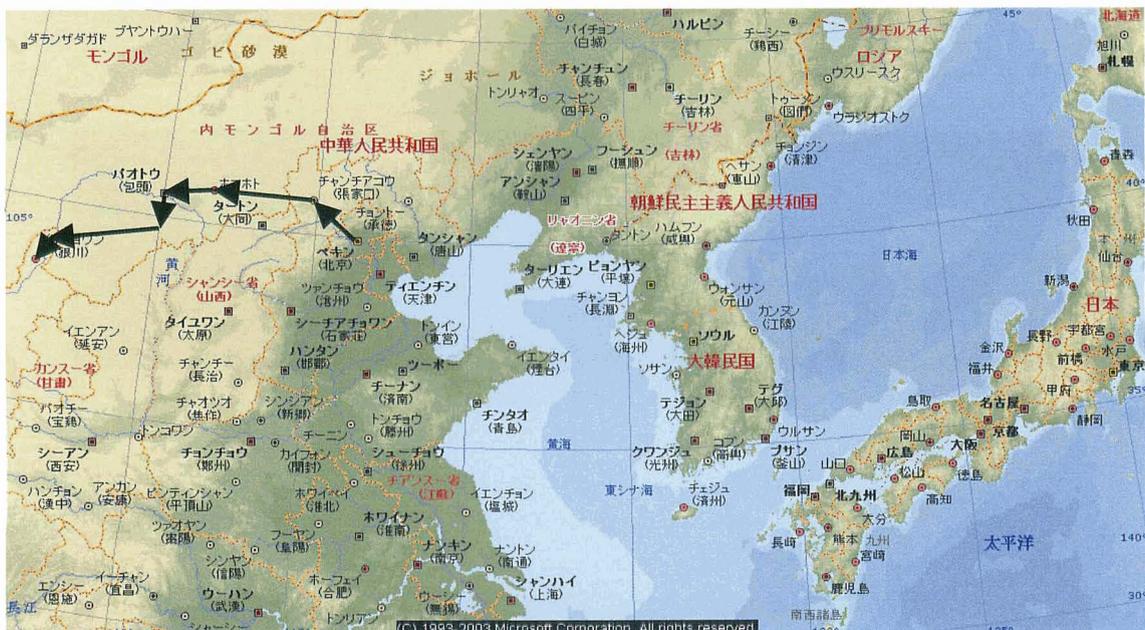
中国では砂漠化の進行とともに、薬用資源であるマオウの資源量が減少している。そのため、中国政府は加工品以外のマオウの輸出を禁止している。マオウは、エフェドリンを含み、漢方薬として非常に需要が多い。そのため、天然マオウの減少を食い止める方策と、栽培方法の確立が急務である。調査では、マオウの分布と周辺環境の関係を明らかにし、衛星データからマオウの資源量を推定する技術を確認するための基礎調査を行った。

### ◆参加者

御影雅幸，鎌田直人，露木聡，久保守

### ◆日程

- 第1日目 (9/24) 関西-北京 (空路)，-張家口
- 第2日目 (9/25) 張家口-呼和浩特
- 第3日目 (9/26) 呼和浩特-包頭
- 第4日目 (9/27) 包頭-東勝
- 第5日目 (9/28) 東勝-石嘴山
- 第6日目 (9/29) 石嘴山-銀川
- 第7日目 (9/30) 銀川
- 第8日目 (10/1) 銀川-北京 (空路)
- 第9日目 (10/2) 北京-関西 (空路)





植樹地区



農地



農地



羊放牧



砂漠化



マオウ栽培



農地



砂漠化



草木保護地区（放牧禁止）



羊放牧



マオウ栽培



ゴビ砂漠

平成 16 年 9 月 15 日～9 月 23 日

◆調査概要

日本では、1980 年代後半から、ミズナラを中心としたブナ科植物が大量枯死し、森林衰退として大きな問題になっている。集団枯死の原因は、カシノナガキクイムシという甲虫が媒介する *Raffaelea quercivora* のいう真菌である。日本では、太い木が枯れやすい傾向が認められるため、1960 年代の燃料革命によって放棄された薪炭林が大径化したことが、流行の原因であると考えられている。中国のブナ科植物の分布状況を現地で調査し、衛星データからナラ枯れのリスクアセスメントを行うための基礎調査を行った。東北部には、サイズの大きなコナラ属植物が多数分布していたが、山東省には文献データによると分布していることになっているものの、実際にはほとんど分布していなかった。

◆参加者

御影雅幸, 鎌田直人, 久保守, 小村良太郎

調査日程

- 第 1 日目 (9/15) 関西-大連 (空路)
- 第 2 日目 (9/16) 大連-鳳城
- 第 3 日目 (9/17) 鳳城-通化
- 第 4 日目 (9/18) 通化-瀋陽
- 第 5 日目 (9/19) 瀋陽-北京
- 第 6 日目 (9/20) 北京-済南
- 第 7 日目 (9/21) 済南-煙台
- 第 7 日目 (9/22) 煙台-青島
- 第 8 日目 (9/23) 青島-関西 (空路)





大連



鳳城



鳳城



通化



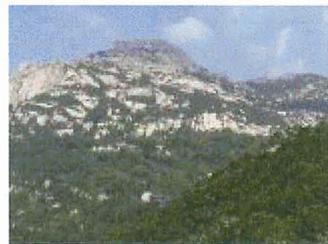
瀋陽



濟南



煙台



青島

## 平成 17 年 8 月 17 日～8 月 24 日

### ◆調査概要

平成 16 年 10 月に、韓国の木甫で開催した EMEA の集会において、韓国でも 2004 年にナラ枯れが確認されたことが、韓国の共同研究者である韓国山林研究院のメンバーから報告された。病原菌の同定はまだ行われていないが、媒介昆虫はカシノナガキクイムシと同属の *Platypus koryoensis*, 枯死している樹種は *Quercus mongolica* であるという。そこで、中国東北部での *Quercus mongolica* と *Platypus koryoensis* の分布状況を調査して、将来のナラ枯れのリスクアセスメントを行うための基礎資料を収集した。吉林省においては、韓国で枯れている木よりもはるかに大きいサイズの *Quercus mongolica* が多数分布していることが確認された。

### ◆参加者

鎌田 直人, 久保守, 小村良太郎

### ◆調査日程

- 第 1 日目 (8/17) 富山-大連-延吉 (空路)
- 第 2 日目 (8/18) 延吉-長白山
- 第 3 日目 (8/19) 長白山
- 第 4 日目 (8/20) 長白山-吉林
- 第 5 日目 (8/21) 吉林-瀋陽
- 第 6 日目 (8/22) 瀋陽-岫岩
- 第 7 日目 (8/23) 岫岩-大連
- 第 7 日目 (8/24) 大連-富山 (空路)





長白山



長白山



長白山



長白山



吉林



吉林



瀋陽



岫岩